

平成27年4月23日

報道機関 各位

新 潟 大 学

**武田薬品工業株式会社 及び 慶應義塾大学医学部
との共同研究契約を締結しました
～「湘南インキュベーションラボ」の一環として～**

新潟大学では、このたび、武田薬品工業株式会社および慶應義塾大学医学部と、同社湘南研究所において疾患関連 RNA 結合タンパク質の探索と機能解析に関する共同研究を実施する契約を締結しましたのでお知らせします。

契約の内容

「湘南インキュベーションラボ」は、同社湘南研究所に外部の研究機関から優秀な研究者を招き、同研究所内の施設の一部を利用して同社研究者とともに研究活動を行うプロジェクトであり、同社医薬研究本部が継続して実施している取組みです。疾患関連 RNA 結合タンパク質に関する本共同研究期間は3年間であり、慶應義塾大学医学部生理学教室の岡野 栄之 教授が全体の研究を指揮し、本学からは大学院医歯学総合研究科の矢野 真人 准教授が参加して進めます。

今後の展望

RNA 結合タンパク質と疾患の病態との関係について近年、徐々に明らかにされつつあり、多くの疾患の発症や進行に RNA 結合タンパク質の異常が関係していることが考えられます。本共同研究では、系統的かつ網羅的に RNA 結合タンパク質に特化した研究を行い、新規創薬ターゲット候補や画期的な創薬技術を継続的に創出することを目指します。本共同研究では、中枢神経系疾患やがんなどが対象になる可能性があります。

慶應義塾大学医学部の岡野 栄之教授は、「我々の研究してきた RNA 結合性タンパク質研究と武田薬品の技術を結びつけることで、革新的な創薬研究の成果を出していきたいと思います」と述べています。

武田薬品工業株式会社の丸山 哲行 医薬研究本部長は、「今般、RNA 結合タンパク質の研究における世界有数の研究者である岡野教授を迎えることができ、大変嬉しく思います。今回の共同研究を通じて、当社は両大学と協力して患者さんが待ち望む画期的な新薬の創出を目指してまいります」と述べています。

以上

問い合わせ先
新潟大学広報室
TEL : 025-262-7000